



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 AppBank株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6177 URL [http:// www.appbank.co.jp/](http://www.appbank.co.jp/)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮下 泰明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 野村 友総 (TEL) 03-6302-0561
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	469	△23.0	△100	—	△101	—	△102	—
28年12月期第1四半期	609	—	△49	—	△77	—	△51	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △102百万円(—%) 28年12月期第1四半期 △51百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△15.44	—
28年12月期第1四半期	△7.76	—

(注) 平成28年12月期第1四半期及び平成29年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,996	960	48.0
28年12月期	2,203	1,062	48.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 958百万円 28年12月期 1,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	4.0	△20	—	△25	—	△16	—	△2.41
通期	2,550	9.3	50	—	40	—	25	—	3.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	6,798,000株	28年12月期	6,798,000株
29年12月期1Q	145,443株	28年12月期	146,643株
29年12月期1Q	6,652,263株	28年12月期1Q	6,598,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取りまく経営環境におきまして、当社メディア事業の主たる事業内容であるインターネット広告市場は、2014年以降二桁成長が継続、今期も同様のペースで拡大しております(注1)。ストア事業の主たる商材に影響のあるスマートフォン端末につきましては、出荷台数は回復傾向にあります(注2)。一方で市場環境は、端末販売店など他社店舗におけるスマートフォンアクセサリー販売が拡大しており、競争激化の傾向は継続しております。

このような環境の中、当社グループは「You are my friend.」の経営理念のもと、ユーザーとのより密な関係構築によるAppBankブランドの価値向上に努めてまいりました。メディア事業、ストア事業とも3月の業績は回復の兆しは見られたものの、全体としては低調な業績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高469,789千円(前年同期比23.0%減)、営業損失100,704千円(前年同期は営業損失49,727千円)、経常損失101,921千円(前年同期は経常損失77,470千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失102,714千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失51,177千円)となりました。

(注1) 出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」(2017年2月確報版)

(注2) 出所：一般社団法人電子情報技術産業協会統計資料

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部取引高を含んでおります。

(メディア事業)

「AppBank.net」、「パズドラ究極攻略」、「モンスター攻略」といった当社主要サイトは、当第1四半期連結累計期間におきましては、約3億7,500万ページビュー、アプリダウンロード数は約44万となっております。また、3月16日にはスマートフォンゲームアプリ「麻雀ツモツモ」をリリース、1カ月弱で3万7千超のダウンロードがありました。漫画プロジェクトではコンテンツを充実させる傍ら、連載漫画と他社ゲームアプリとのコラボイベントを実施いたしました。

動画配信の分野では引き続き「YouTube」、「niconico」に「マイクラフト」や「モンスターストライク」、「パズドラやろうぜ!」などのコンテンツを提供しております。また、昨年12月に開設した女性向けゴルフメディア「ringolf」は、「YouTube」チャンネルの視聴回数も順調に増加し、ご好評を博しております。

イベントでは、前年の地震により実施を見合わせていた「AppBank JAPANツアー in 熊本」を4月1日にチャリティーイベントとして開催し、多くの皆さまにお楽しみいただきました。

営業面では、純広告収入は前期実績を上回りましたが、広告プラットフォーム事業につきましては、3月に新たな動画広告配信アドネットワーク「AppBank Video Network」の提供開始など収益拡大の施策は実施したものの、成果が顕在化するまでには至らず、セグメント合計では減収となりました。また、アプリ開発費用が増加したこと等により、減益の幅は拡大いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は210,732千円(前年同期比11.2%減)、セグメント損失は76,294千円(前年同期はセグメント損失27,330千円)となりました。

(ストア事業)

スマートフォンアクセサリー販売における市場環境は、競争激化の状況が継続しております。競合店舗に対する独自性・優位性を確保するため、当社メディアとの連動強化及びプライベート商品・コラボレーション商品の拡充、スマホユーザーのライフスタイルをより豊かにする商品とサービスの提供に努めました。

店舗事業では、3月11日より期間限定で「Sma-cle メガネスーパー高田馬場本店」「Sma-cle メガネスーパー本厚木東口店」を「メガネスーパー」にインショップ展開いたしました。総務省認定iPhone修理店である「Sma-cle」は、スマートフォン長期保有化に対応するため、モバイル保険とともにモノだけではなくサービスの提供を行う新領域と位置付けております。当第1四半期末時点の当該サービス提供店舗数は、期間限定のものを含め6店舗となります。なお、「AppBank Store」常設店舗数は、3月下旬にリニューアル工事を実施した八重洲店を含め13店舗となっております。

Eコマースサイト運営では、3月にWEB会員35万人突破を記念したキャンペーンやメールマガジン配信などを通じてリピーターの需要喚起を図りました。

一方営業面では、企画・セール施策を実施しましたが、市場環境が飽和状況にあるなかで購買増に結び付けるには至らず、実店舗及びEコマースサイトともに減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は267,201千円（前年同期比30.8%減）、セグメント損失は28,130千円（前年同期はセグメント損失は27,316千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間末における総資産は1,996,963千円となり、前連結会計年度末に比べ206,248千円減少いたしました。これは主に、「現金及び預金」が200,249千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結累計期間末における負債は1,036,850千円となり、前連結会計年度末に比べ103,814千円減少いたしました。これは主に、「1年内返済予定の長期借入金」が35,546千円減少、「長期借入金」が60,324千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間末における純資産は960,113千円となり、前連結会計年度末に比べ102,434千円減少いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純損失」を102,714千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年2月14日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,464,745	1,264,496
売掛金	218,127	186,082
商品	79,225	92,717
原材料及び貯蔵品	2,355	4,692
未収還付法人税等	134,497	134,530
その他	58,960	16,388
流動資産合計	1,957,911	1,698,907
固定資産		
有形固定資産	65,300	62,208
無形固定資産	3,054	8,993
投資その他の資産		
投資有価証券	80,112	130,224
長期未収入金	148,691	148,691
その他	96,832	96,628
貸倒引当金	△148,691	△148,691
投資その他の資産合計	176,945	226,853
固定資産合計	245,300	298,056
資産合計	2,203,212	1,996,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,711	134,908
1年内返済予定の長期借入金	301,910	266,364
未払法人税等	1,489	1,432
その他	155,381	136,219
流動負債合計	582,492	538,924
固定負債		
長期借入金	528,951	468,627
資産除去債務	29,221	29,299
固定負債合計	558,172	497,926
負債合計	1,140,664	1,036,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,850	99,850
資本剰余金	300,576	300,829
利益剰余金	666,230	563,516
自己株式	△5,753	△5,706
株主資本合計	1,060,903	958,489
新株予約権	1,643	1,623
純資産合計	1,062,547	960,113
負債純資産合計	2,203,212	1,996,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	609,780	469,789
売上原価	399,815	318,191
売上総利益	209,965	151,597
販売費及び一般管理費合計	259,692	252,301
営業損失(△)	△49,727	△100,704
営業外収益		
受取利息	154	213
為替差益	819	85
役員報酬返納額	1,110	—
還付加算金	—	312
雑収入	530	107
営業外収益合計	2,613	719
営業外費用		
支払利息	2,573	1,932
過年度決算訂正関連費用	27,528	—
雑損失	255	3
営業外費用合計	30,357	1,935
経常損失(△)	△77,470	△101,921
特別利益		
新株予約権戻入益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
減損損失	19,179	—
特別損失合計	19,179	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△96,650	△101,901
法人税、住民税及び事業税	854	702
法人税等調整額	△46,327	110
法人税等合計	△45,472	812
四半期純損失(△)	△51,177	△102,714
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△51,177	△102,714

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△51,177	△102,714
四半期包括利益	△51,177	△102,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,177	△102,714
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準摘要指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	230,778	379,001	609,780	—	609,780
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,463	6,852	13,315	△13,315	—
計	237,242	385,853	623,096	△13,315	609,780
セグメント損失(△)	△27,330	△27,316	△54,647	4,920	△49,727

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額4,920千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ストア事業」において、移転に伴い閉店が決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19,179千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	209,617	260,171	469,789	—	469,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,114	7,030	8,145	△8,145	—
計	210,732	267,201	477,934	△8,145	469,789
セグメント損失(△)	△76,294	△28,130	△104,424	3,720	△100,704

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額3,720千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。